

土砂災害から逃れるために

5年 中 武 太 郎

僕は土砂災害防止教室で土砂災害の怖さを
知りました。土砂災害には、土石流やがけ崩
れ、地すべりなどがあります。動画を観た時、
こんなものに巻き込まれたらどうなるのだろ
うかと考え、とても怖くなりました。その怖
さを知ったから、僕は土砂災害のことについ
てもう少し調べてみることにしました。

僕の家は山の上にあるので土砂災害と常に
隣り合わせです。もし家の近くで土砂災害が
起きたらどうするか自分なりに考えてみまし
た。まず家の近くに土砂が流れてきたら命が
危険になると思います。土砂のスピードは約
40キロとあったので普通に走っても無理だと
思います。だから山が崩れそうだとわかった
ら安全なところに逃げることが大切です。ま
た、すぐに判断して逃げるようにするため
は普段から逃げる場所を確認しておいて、逃
げた後に必要なものを準備しておくことが大

切だと思えます。土砂災害が起こる前はいろ

いろな特徴があります。家の近くに崖はあり

ませんが、がけ崩れだとがけから水が吹き出

たり、水が濁ったり、崖に亀裂が入ったりも

します。他には小石がパラパラ降ってきたり

崖から音が鳴ったりします。土石流だと木が

折れる音がして岩がころがってくる音もする

そうです。地滑りだと地鳴りがして地面が振

動するそうです。このどれかが当てはまった

ら、すぐに逃げないといけません。土砂災害

にも逃げ方があり、土砂が来る方向と直角に

逃げるとよいそうです。がけ崩れの場合は、

すぐに山から離れたほうがいいです。その特

徴が一つでも当てはまったらすぐに逃げるよ

うにしたいです。

次に、土砂災害が起きて道が通れなくなっ

たら、どうなるか考えてみました。車が通れ

なくなると、学校はもちろん、習い事や買い

物など、西都市や湯前町にも行けなくなりま

す。そうなると食べ物や飲み物が買えなくな

り、生活するのが大変になります。もしそう
なったときのことを考えて準備しておくによ
いものについても考えてみました。リュック
サックの中に、保存しやすい食べ物と飲み物
をある程度入れておきます。停電したときの
ことを考えて、懐中電灯と替えの電池を準備
しておきます。ヘルメットや携帯の充電器ラ
ジオ、カイロやティッシュなども準備してお
くによいです。あとは衣類やタオルも大事で
す。僕たちは、台風が近づいてくると懐中電
灯や電池、水を準備しています。このような
準備は台風の時だけでなく土砂災害にも使え
るようです。祖父に聞いてみると、昔、家の
近くの道沿いの谷があふれて、道の半分が土
で埋まってしまい、車では通れなくなったこ
とがあったそうです。その時はリュックサッ
クをもって道の下の方まで行き、食料を受
け取っていたそうです。半年ほど通れなくて
とても大変だったといいます。他にも、道が
崩れて通れなくなったこともあったそうです。

